

- 問1 1863年に長州藩が下関海峡で外国船を砲撃した「攘夷」の決行と、その翌年に起きた四国艦隊下関砲撃事件の結果が、その後の日本の歴史に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 圧倒的な軍事力の差を痛感したことで、武力による攘夷を断念し、開国して倒幕を目指す方針へと転換した。
 2. この事件をきっかけに幕府との協力関係が深まり、公武合体の考え方に基づいて幕政改革が進められた。
 3. 外国船を撃退することに成功したことで、幕府の権威が高まり、鎖国体制を維持する政策が強化された。
 4. イギリスとの単独の戦争に敗北したため、最新の武器を導入するためにフランスと密かに軍事同盟を結んだ。
- 問2 1860年ごろ、日米修好通商条約などの締結によりアメリカやイギリスとの貿易が開始された結果、日本国内では激しい物価の上昇が起こり、人々の生活に大きな打撃を与えました。この背景として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本と海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が海外へ流出し、さらに生糸などの生活必需品が輸出に回されて国内で品不足になったため。
 2. 大規模な凶作によって米の収穫量が激減したことに加え、都市部の商人が米を売り惜しんだことで、全国で「米騒動」と呼ばれる暴動が発生したため。
 3. 欧米諸国への対抗策として軍備を拡張するため、幕府が軍需品の生産を最優先し、民間向けの生活必需品の生産を制限したため。
 4. 地主や商人が将来の値上がりを見越して米などの穀物を大量に買い占めたことで、市場に出回る食料が極端に不足し、価格が高騰したため。
- 問3 幕末の動乱期にあたる1867年頃、物価の上昇や政情不安が続く中、近畿地方から東海地方にかけて「空からお札が降ってきた」という噂をきっかけに、民衆が熱狂的に踊り歩いた社会現象を何と呼びますか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 御蔭参り
 2. 打ちこわし
 3. ええじゃないか
 4. 世直し一揆
- 問4 1853年に浦賀へ来航したペリーが、翌年の1854年に再び来航した際に江戸幕府と結んだ条約によって、日本が新たに開港した港の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 北海道の箱館と、九州北西部に位置する長崎
 2. 神奈川の横浜と、現在の兵庫県にあたる兵庫
 3. 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田
 4. 伊豆半島の先端付近に位置する下田と、九州北西部に位置する長崎
- 問5 1860年代後半の日本の政治状況において、当時の将軍が「政権を朝廷に返上した」目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 内戦を避けつつ、形式上は朝廷に政権を戻すことで、徳川家を中心とした新たな公議政体での実権維持を狙ったため
 2. フランスの支援を背景に、江戸幕府を近代的な絶対王政へと組織改革する時間を稼ぐため
 3. 全国の土地と人民を朝廷に返還させることで、封建制度を完全に廃止し中央集権国家を確立するため
 4. 武士の特権をすべて廃止し、四民平等の社会を実現するための前提条件として政権を放棄したため
- 問6 江戸幕府の対外政策を批判した思想家たちが弾圧された「蛸社の獄」について、その直接的なきっかけとなった出来事として正しいものを選んでください。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. ラクスマンが通商を求めて来航した際に、幕府が長崎での交渉を認める不適切な対応をしたこと。
 2. 渡辺崋山や高野長英が、幕府による異国船への無差別な攻撃を批判する著書を記したこと。
 3. アヘン戦争の混乱に乗じて、江戸近海に接近した外国船を幕府が誤って撃沈したこと。
 4. 伊能忠敬が幕府の許可なく詳細な日本地図を完成させ、それを海外へ持ち出そうとしたこと。
- 問7 江戸時代末期、日本の開国に関連して示された4つの港のうち、1854年の日米和親条約に基づき、下田とともに開港された場所の地理的な説明として正しいものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 本州の日本海側に位置する港
 2. 本州の中部太平洋側に位置する港（現在の神奈川県内）
 3. 北海道の南部に位置する港
 4. 九州の西部に位置する港
- 問8 1864年から1867年にかけての江戸の経済状況において、米の価格が4倍以上に急騰したのに対し、日雇い労働者の賃金はほとんど上がらず横ばいの状態であったことを示す記録があります。このような状況下で、都市部において「打ちこわし」が頻発した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 幕府が貿易を厳しく制限したことで海外製品が入らなくなり、物価が上昇して生活が困窮したため。
 2. 海外から安価な製品が大量に流入したことで、国内の産業が衰退し、労働者の賃金が大幅に引き下げられたため。
 3. 輸出の拡大によって国内の商品が不足し、物価が上昇した一方で、庶民の賃金がそれに伴って上昇しなかったため。
 4. 幕府が米の配給制度を導入したことで、市場に流通する米が極端に少なくなり、生活が成り立たなくなったため。
- 問9 1853年、アメリカのペリー率いる艦隊（黒船）が来航し、江戸幕府に対して開国を求めました。このとき、艦隊が最初に到着した、関東地方の三浦半島に位置する場所はどこですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 函館
 2. 浦賀
 3. 下田
 4. 新潟
- 問10 18世紀後半に産業革命を達成し「世界の工場」と呼ばれた国家の、地理的および歴史的な特徴についての説明として最も適切なものはどれか。なお、この国はヨーロッパの地図において、イタリア半島やイベリア半島よりも北西に位置する島国である。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 15世紀末から大西洋を越えてアメリカ大陸への進出をいち早く進めたが、18世紀の産業革命の発生源ではない。
 2. アフリカ大陸の北西端に位置し、イスラム文化圏とヨーロッパ文化圏を結ぶ要所として機能していた。
 3. 地中海貿易の拠点として繁栄し、ルネサンスの文化が開いたが、産業革命の開始は他国より遅れた。
 4. 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。
- 問11 イギリスで産業革命が始まった背景には、インドから輸入された安価で質の高い綿織物が人気となり、それに対抗して自国で効率よく生産する必要が生じたという事情がありました。この課題を解決するために導入された生産体制の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 職人が一つの場所に集まり、手作業による分業で製品を仕上げるマニユファクチュアの仕組み
 2. 蒸気機関を動力とする機械を導入し、大規模な工場で製品を大量生産する仕組み
 3. 政府が輸入品を完全に禁止し、伝統的な手織り機による小規模な生産を守る仕組み
 4. 植民地から大量の労働者を呼び寄せ、人海戦術によって手作業の生産量を増やす仕組み

答え合わせ・解説

問1	答え 1 圧倒的な軍事力の差を痛感したことで、武力による攘夷を断念し、開国して倒幕を目指す方針へと転換した。	長州藩は攘夷を決行したものの、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国艦隊による圧倒的な攻撃を受けて敗北しました。この経験から、攘夷は不可能であることを現実的に認識し、むしろ海外の優れた技術を取り入れて国力を高め、幕府を倒そうとする考えへと変化しました。これが後の薩長同盟や明治維新へとつながる大きな転換点となりました。
問2	答え 1 日本と海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が海外へ流出し、さらに生糸などの生活必需品が輸出に回されて国内で品不足になったため。	幕末の開国後、日本と外国では金と銀の交換比率が異なっていたため、日本の金貨が大量に海外へ流出しました。幕府はこれに対処するために貨幣の質を落とした貨幣を大量に発行しましたが、これが貨幣価値の下落を招き、物価上昇に拍車をかけました。同時に、当時の主要な輸出品であった生糸などが大量に海外へ送られたことで、国内向けの供給が不足し、生活必需品の価格が急騰して庶民の生活を圧迫しました。
問3	答え 3 ええじゃないか	開国による経済の混乱や倒幕運動の激化など、社会不安が高まっていた1867年、伊勢神宮などのお札が降ってきたことを吉兆として、民衆が「ええじゃないか」と連呼しながら熱狂的に踊り歩く現象が各地で発生しました。これは、当時の既存の秩序が崩壊していく中での民衆の解放感や、現実逃避的な心理が反映されたものと考えられています。
問4	答え 3 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田	アメリカのペリーと江戸幕府が結んだ日米和親条約により、アメリカ船に薪水や食料を供給することを目的として、下田（静岡県）と箱館（北海道）の2港が開港されました。長崎は江戸時代を通じてオランダや清との貿易が行われていた港であり、この条約で新たに開かれたものではありません。また、横浜や兵庫などは後の1858年に結ばれた日米修好通商条約によって開港が決められた港です。
問5	答え 1 内戦を避けつつ、形式上は朝廷に政権を戻すことで、徳川家を中心とした新たな公議政体での実権維持を狙ったため	徳川慶喜は、武力による討幕を目指す勢力に対して、自ら政権を返上することで「倒すべき幕府」という存在を消し去り、内戦を回避しようとした。また、返上後も有力な大名たちによる会議において、最大の領地を持つ徳川家が政治の主導権を握り続けることを期待していました。
問6	答え 2 渡辺崋山や高野長英が、幕府による異国船への無差別な攻撃を批判する著書を記したこと。	1837年にアメリカの商船モリソン号が来航した際、幕府は異国船打払令に基づいてこれを砲撃しました。この事件を知った渡辺崋山（『慎機論』）や高野長英（『戌戌夢物語』）ら蘭学者は、海外情勢を知らない幕府の無謀な対応を批判しました。これに対し、幕府は彼らを捕らえて処罰し、言論を弾圧しました。これが1839年に起こった菫社の獄です。
問7	答え 3 北海道の南部に位置する港	日米和親条約で開港されたのは、静岡県の下田と北海道南部の函館です。当時のアメリカにとって、太平洋での捕鯨活動のための補給拠点として、またロシアの南下を警戒する幕府にとっても、これら2地点の開港は重要な意味を持っていました。新潟や長崎、神奈川（横浜）などは、貿易を前提とした日米修好通商条約での開港地であり、和親条約の段階では開港されていません。
問8	答え 3 輸出の拡大によって国内の商品が不足し、物価が上昇した一方で、庶民の賃金がそれに伴って上昇しなかったため。	開国後の貿易開始により、生糸や茶などの国内産品が大量に輸出されたことで、国内市場では深刻な品不足が発生しました。これにより物価が急激に上昇しましたが、庶民の賃金は据え置かれたままだったため、実質的な生活水準が大幅に低下しました。この経済的な苦境と不満が、豪商などを襲撃する「打ちこわし」へとつながりました。幕府による配給制などは実施されておらず、むしろ市場の混乱が要因となっています。
問9	答え 2 浦賀	1853年にアメリカの東インド艦隊司令官ペリーが、大統領の国書を携えて到着したのが三浦半島の浦賀（現在の神奈川県横須賀市）です。この出来事は長年続いた「鎖国」体制を揺るがす大きな転換点となりました。選択肢のうち、下田と函館は翌1854年に結ばれた日米和親条約によって開港された場所であり、新潟は1858年の日米修好通商条約によって開港が決められた港の一つです。
問10	答え 4 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。	イギリスは18世紀後半に世界に先駆けて産業革命を達成し、圧倒的な経済力と軍事力を背景に世界各地に進出しました。日本に対しても、1808年のフェートン号事件を通じて圧力をかけ、それまでのオランダ中心の貿易体制を脅かしました。他の選択肢は、イタリア、スペイン、モロッコ（北アフリカ）の特徴を述べたものです。
問11	答え 2 蒸気機関を動力とする機械を導入し、大規模な工場で製品を大量生産する仕組み	イギリスではインド産の綿織物に対抗するため、紡績機や織機の改良が進められました。蒸気機関を動力としてこれらの機械を動かすことで、従来の手作業や水力に頼った生産をはるかに上回る効率的な大量生産体制が確立されました。